



勉強をする理由

本日はお忙しい中、学校公開にお越しくださり、誠にありがとうございました。保護者会でもお話をさせていただきましたが、学校教育は、学校と家庭との緊密な連携があつてこそ、大きな効果が生まれ、子どもたちを大きく成長させていくことができます。今回の学校公開にお越しくださり、学校での子どもたちの様子や学校の雰囲気、教員の教え方などを見ていただくことも、連携を深めていくためにもとても大切なことだと考えています。きっと今日は、学校の話をご家庭でもたくさんしてくださったのではないのでしょうか。お子様が心配していること、困っていることを担任と共有していただいたり、宿題を決まった時間にしよう声をかけていただいたり、放課後の遊び方のルールなど、ご家庭でもしっかり指導していただいたりするなど、ぜひ一緒に取り組んでいただけたらと思います。

今年度、本校では、校内研究として「生活科・総合的な学習の時間」の研究をします。研究のテーマは「思いや願い・課題をもち、探求する子どもの育成」～地域の教育資源を活用した学びを通して～です。「生活科」も「総合的な学習の時間」も他の教科と違い、体験を通して、自ら課題を見付けることやその課題を自ら解決していくことに重点を置いて学ばせていきます。また、国語や算数など、他教科で学んだことをフル活用して学習を進めていきます。「総合的な学習の時間」に多西小学校の子どもたちに身に付けさせたい資質・能力は以下の7点です。

- ①自ら課題を見付けようとする力
- ②目的や根拠を明らかにして課題に関わる力
- ③情報収集・整理・分析・表現の過程を楽しむ力
- ④探求的に解決したことを表現する力
- ⑤次の課題解決に向かう力
- ⑥他者の考えを受け止め、友達や地域の人などと協働していく力
- ⑦自分事として、最後まで粘り強く取り組む力

これらの力は、子どもたちが将来、大人になった時に一人で自立して生きていくために必要になる力です。社会に出て、仕事をするためにも欠かせない力です。予測不可能な震災、社会情勢の変化に対応していくためにも必要です。これからの時代を「生き抜く力」とも言われています。よく、子どもたちから、「なんで勉強しなくてはいけないの?」という質問を受けることがありますが、この「生き抜く力を付けるため」ということがその答えになるのだと思います。多西小学校では、上に示した7つの力を子どもたちがしっかりと身に付けられるよう、校内研究を通して授業改善に努めていきます。

さて、来たる5月27日に運動会を実施する予定です。保護者アンケートからいただいたご意見や、練習から当日までの子どもたちの練習内容、健康面や安全面を総合的に判断し、今年度から、運動会は午前中の開催といたします。また、内容に関して、本来の教育的な目的を確認しながら、再度、教職員で検討しました。その結果、表現運動や短距離走で体育科のねらいを、係活動や応援、縦割りによる教え合い、スローガン等で特別活動のねらいを達成することを目的として取り組むこととしました。実施する目的を明確にし、内容を絞り込むことで、子どもたちにも無理なく、安全に教育効果を高めていけると判断しました。今週から運動会の練習は始まっています。運動会は当日だけでなく、練習という過程も子どもたちにとって、とても大切です。一人一人がめあてをもち、当日、力を発揮できるよう指導していきますので、練習の時から子どもたちに声援を送ってくださいますようお願いいたします。